

平川市の家計簿

平川市の平成30年度決算が9月議会において認定されました。決算は、1年間にどれだけの収入があり（歳入）、それがどのように支出されたのか（歳出）を分類して集計したものです。ここでは、その概要についておしらせします。

特別会計・企業会計

特別会計と企業会計は、特定の事業を行う目的でそれぞれ個別に経理するものです。

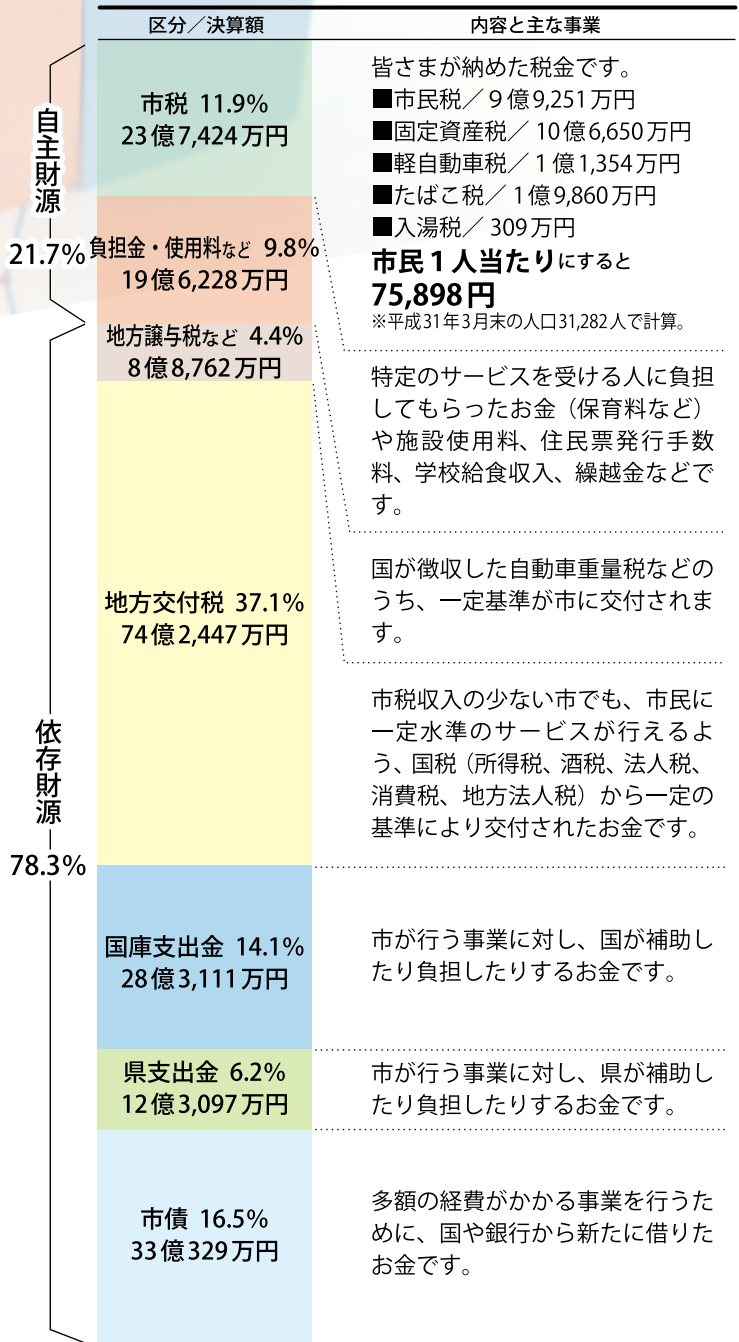
特別会計		
会計名	歳入	歳出
国民健康保険	36億2,379万円	35億8,273万円
介護保険	38億3,026万円	36億8,963万円
後期高齢者医療	2億7,900万円	2億7,811万円
診療所	2億7,170万円	2億7,170万円
簡易水道	500万円	500万円

企業会計			
会計名		歳入	歳出
水道事業	収益的	5億8,779万円	4億5,196万円
	資本的	995万円	1億1,003万円
下水道事業	収益的	11億6,720万円	10億1,340万円
	資本的	2億2,657万円	6億9,226万円

普通会計

普通会計とは、他の市町村と比較できるように経理の範囲が定められた標準市では、一般会計に学校給食センター特別会計、尾上地区住宅団地温泉

歳入総額 **200億1,398万円**



健全化判断比率の公表

平成20年度決算から、財政健全化法が本格適用されました。昨年に引き続き、健全化判断比率（財政が健全なのかどうかを判断するために国が定めた指標）を使って当市の財政状況を説明します。

<項目の説明>

- ① 実質赤字比率…普通会計などの赤字が経常的な収入に占める割合
- ② 連結実質赤字比率…すべての会計の赤字が収入に占める割合
- ③ 実質公債費比率…地方債（国や銀行などからの借入金）の返済額が収入に占める割合
- ④ 将来負担比率…将来負担することになっている負債額が経常的な収入に占める割合

健全化判断比率 (単位：%)				
指標	平川市の比率	平川市の前年比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	13.27	20.0
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	18.27	30.0
実質公債費比率	11.7	12.6	25.0	35.0
将来負担比率	負担なし	負担なし	350.0	

普通会計決算額を
イメージしやすいよう
実際の家計簿に
おきかえてみました。



収入	決算上の区分	金額
給料	市税	36万円
パート収入	負担金、使用料など	2万円
入学祝や饗別など	諸収入など	27万円
親からの援助	地方交付税・国県支出金	185万円
新たなローン	市債	50万円
収入合計		300万円

※「年収 300 万円の世帯」の場合

支出	決算上の区分	金額
食費	人件費	33万円
光熱水費、日用品代	物件費	30万円
医療費、保育料など	扶助費	56万円
小遣い、冠婚葬祭	補助費など	35万円
リフォームや車購入	普通建設事業費など	70万円
ローンの返済	公債費	34万円
貯金	積立金	2万円
子どもへの仕送り	投資、貸付、繰出金	30万円
支出合計		290万円

※300万円ー 290万円=10万円（黒字）は来年度に繰り越すことにします。

●様々な事業に使用されています



トップアスリート陸上教室の様子

準的な会計です。
事業特別会計などを加えたものを普通会計としています。

歳出総額

193億5,712万円

区分/決算額	内容と主な事業
総務費 13.4% 25億8,789万円	庁舎の管理、徴税、まちづくりなどに支出しました。 ■本庁舎建設事業／9,819万円 ■地域コミュニティ育成事業奨励金／2,396万円 ■すこやか住宅支援事業補助金／2,136万円
民生費 29.3% 56億7,656万円	お年寄りや障がいのある方、生活保護、子育て支援などに支出しました。 ■保育対策事業／13億7,145万円 ■老人福祉対策事業／10億6,751万円 ■障がい福祉対策事業／9億4,058万円 ■生活保護費／7億393万円 ■子ども医療費給付費／9,077万円
衛生費 4.5% 8億6,209万円	ごみ処理や火葬場の維持、病気の予防、環境保全などに支出しました。 ■ごみ・し尿処理事業／2億9,528万円 ■診療所特別会計繰出金／1億2,436万円
農林水産業費 5.1% 9億9,124万円	農業の振興などに支出しました。 ■中山間地域等直接支払交付金／1億2,619万円 ■多面的機能支払交付金／1億2,226万円
土木費 7.9% 15億2,974万円	道路や公園の整備などに支出しました。 ■道路新設改良・側溝整備事業／1億6,004万円 ■市道除雪委託事業／2億7,288万円 ■ひらかわ市民の森改修事業／1,664万円
消防費 4.0% 7億7,787万円	消火活動、救急救命などに支出しました。 ■弘前地区消防事務組合負担金／6億2,595万円 ■消防自動車購入事業／3,483万円
教育費 20.5% 39億7,620万円	小中学校、公民館、生涯学習などに支出しました。 ■市民体育館整備事業／2億3,170万円 ■平賀学校給食センター増改築事業／2億4,787万円 ■平賀東小学校改築事業／11億8,204万円 ■猿賀小学校改築事業／7億8,447万円
公債費 11.8% 22億7,378万円	借金の返済に支出しました。 ■長期債元金／22億2,754万円
その他 3.5% 6億8,175万円	議会の運営、雇用対策、災害復旧などに支出しました。 ■商工業振興事業／3億8,352万円 ■議会運営費（議員報酬など）／1億5,481万円 ■観光振興事業／9,480万円 ■災害復旧事業／2,183万円

資金不足比率		(単位：%)	
会計の名称	平川市の比率	平川市の前年比率	経営健全化基準
水道事業会計	資金不足なし	資金不足なし	20.0
下水道事業会計	資金不足なし	資金不足なし	
簡易水道会計	資金不足なし	資金不足なし	

水道事業や下水道事業などといった、皆さんからの料金収入などによって運営されている公営企業の経営状態が健全なのかどうかは、事業規模に対する経営資金の不足額の大きさを表す「資金不足比率」で判断します。

各会計で資金不足は生じませんでしたので、こちらも健全な状態にあるといえます。